

# いおぎ だより

杉並区立井荻小学校

平成24年11月30日発行

No.533

## 大成功で終えた音楽会

副校長 小谷 恒司

時の経つのは早いもので、2学期も残すところあとわずかとなりました。慌ただしい時期になりますが、この時に、しっかりと2学期のまとめをして、新しい年を迎える準備をしていきたいと思います。

2学期には、運動会等大きな行事がありました。11月16日、17日の両日にわたって音楽会を開催しました。16日は児童鑑賞日、17日は保護者鑑賞日となっておりましたが、2日間での保護者や地域の皆様の参観者数は、合わせて615人となりました。多くの皆様の参観をいただき、誠にありがとうございました。

「心と音色を一つにし 笑顔いっぱい音楽会」をスローガンと掲げ取り組んだ今回の音楽会でしたが、フィナーレでは、まさに子供たちの心が一つになり、参観いただいた保護者や地域の皆様も含め、会場全体の心を一つにした大感動の音楽会となり大成功とすることができます。

今回の音楽会を終えて、いくつかの学年の感想を綴った子供たちの文章を読む機会がありました。その文章を読んでみると、この日を目指して熱心に練習に取り組む姿や、思うように演奏が出来ずに悩む姿が書かれています。そのような中で、子供たちの文章に共通するいくつかの点を見つけました。

一つ目は、どの子も最初から上手に歌ったり、演奏したり出来たのではないということです。自信がなく、口を大きく開けることができず、大きな声で歌うことができずに落ち込んでしまう子供たち。では、どのようにし

て乗り越えていったのでしょうか。

それは、悩んだり、恥ずかしい気持ちから力を発揮できずに苦しんでいるのは自分一人ではないことに気付いたことです。友達の姿を通して触発を受け、あるいは友達から直接励ましの言葉を掛けてもらい、悩んでいたのは自分一人ではなかったことに気付き、自分も持っている力を全て出し切って精一杯頑張ろうと再び練習に取り組みます。特に今回の音楽会が小学校生活で最後となる4, 5, 6年生にとっては、悔いを残すことのない音楽会にしたいとの思いを強く持って臨んだ本番となりました。

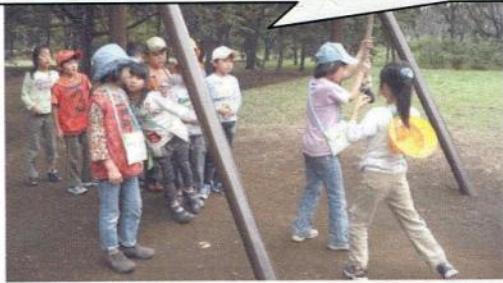
二つ目は、辛い練習や大勢の観衆の前で歌ったり、演奏する緊張や不安を突き抜けたあの達成感、成就感を経験したりしたことについて書いている点です。中でも、文字通り小学校生活最後の大きな行事としての音楽会となったのは6年生です。運動会でも経験し、辛く苦しい練習を通して確かめた互いを信じる心は、絆をより強く、心を一つにとの思いを乗せた歌声と演奏になりました。

家に帰って家族から掛けてもらった「とても良かったよ。頑張ったね。」の一言が子供たちの大きな自信となり、次の課題へ取り組む意欲へと繋がっていくことは間違ひありません。参観者からも「子供たち一人一人の気持ちが一つになった時にあのような素晴らしい演奏になるのだと思いました。子供たちの力は素晴らしいです。」との感想を寄せていただきました。今後も、さらに子供たちの力を伸ばす教育実践の展開をして参ります。

# 2学期の思い出

## 1年 生活科「生活科見学」

野川公園で2年生といっしょにたんけんbingoをしました。鳥の原っぱで寝転がったり、木の実を見つけたりしました。



## 3年 社会で学び、総合で深める「商店街探検」

地域の商店街の見学に行きました。自分で調べたい店と聞きたいことを決め、いざ出発！お店の方に教えて頂いたことを、お店のチラシにしてまとめました。



## 2年 生活科「町たんけん」

7つのグループに分かれ、計画を立ててから、地域のお店や公園などを回りました。



## 4年 座・高円寺ワークショップ

座・高円寺の劇団員の方に声出しなど、上手な表現方法を学びました。その後、グループ毎に創作ダンスを行いました。



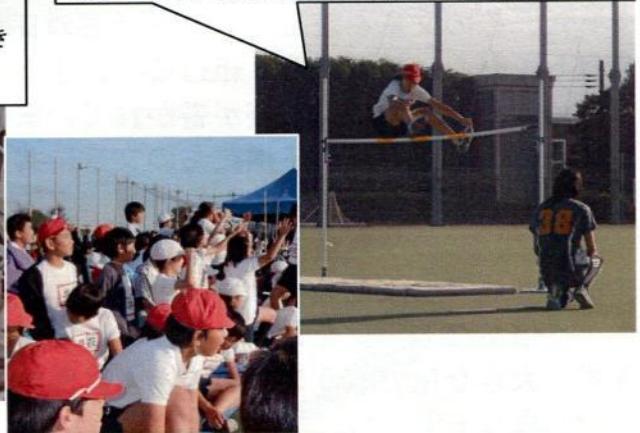
## 5年「お米を精米しよう」 総合的な学習

5月に田植えをした苗が黄金色の稲穂に成長しました。9月に稲刈りをし、11月にもみすり、精米をしました。1粒1粒丁寧にもみ殻をとり玄米を収穫しました。「昔の人はこんな大変な作業をしていたなんてすごい！」「大変だから1粒でも大切にしなくては！」「どんな味かな。早く食べたいな。」子供たちのつぶやきから井荻米でおにぎりを作って食べることにしました。



## 6年 連合運動会

「みんなで結果に一喜一憂して、盛り上がりながら応援することは、言葉に表せない楽しさがあった。大縄では、気持ちを一つにするということは、このことなんだと感じた。」（児童の感想より）



## 杉並区から表彰された井荻小の子供たち

・井荻小学校 6年生・・・杉並区青少年表彰を受賞

受賞内容「善福寺川を自然豊かな川に戻すために行っている周辺遊歩道のゴミ拾い活動について」

さん (6年2組)・・・区制施行80周年記念事業・作文コンクール「10年後の杉並、私の夢」で

区長賞を受賞 受賞作文「10年後の杉並区の夢」

さん (5年1組)・・・科学創意工夫展・高学年部門で教育委員会賞を受賞

受賞作品「あると便利！すわっていても測れる身長計」

さん (2年2組)・・・第2回はたらく消防の写生会で総監賞を受賞



科学創意工夫展・表彰式



青少年表彰・表彰式



消防写生会・総監賞の作品

### 十年後の杉並区の夢 井荻小学校 六年二組

私は、十年後の杉並区が今よりも自然でいっぱいな所になつてほしいです。

私たちの学校には善福寺川が流れています。善福寺川は、昔は人が泳げるほどきれいな川だったそうですが、今はコンクリートに囲まれていて生き物もほとんどくらせないようなきたない川になつてしましました。なので、私たちは、清掃活動をしていま

す。  
清掃活動は、週に一回行っています。週に一回という少ない回数でも善福寺川は少しずつきれいになつています。

しかし、善福寺川には大雨がふると下水が流れ出てしまい、せっかく清掃活動をしても、トイレットペーパーなどが、川に生えているアシなどにこびりついてしまい、なかなか取れなくなってしまいます。なので、これからは私たち子供も清掃活動をがんばりますので、大人たちにも協力して頂いて、杉並区に来てくれた人みんなが、

「この川つてきれいだな」と言つてくれるような川にしたいです。

そして、この私たちの作文を読んでくださった方々に、私たち井荻小の生徒からお願いがあります。それは、雨がふっても下水が流れこまないようにすることです。これは、少し大変なことですがお願いします。

私は、この善福寺川がきれいになるまでずっと清掃活動を続けていきたいです。

# 12月行事予定

1	土	荻中フェスタ
2	日	善福寺川フォーラム 6年
3	月	委員会（写真撮影）
4	火	社会科見学 3年
5	水	
6	木	保護者会 低 リザーブ給食
7	金	保護者会 高
8	土	囲碁・マナ・キッズテニス
9	日	
10	月	クラブ おはなし会
11	火	セーフティ教室（薬物乱用防止）6年
12	水	安全指導 おはなし会
13	木	※野鳥観察会 3・4・5・6年
14	金	避難訓練
15	土	ホタル・おこと・いけばな
16	日	
17	月	クラブ
18	火	
19	水	
20	木	給食終了
21	金	大掃除 終業式
22	土	冬季休業日開始
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	校庭開放なし
30	日	
31	月	

## 冬休み中の校庭開放

平成24年12月29日（土）から  
平成25年 1月 3日（木）までの  
6日間は、校庭開放はありません。

## 新学期始業式の予定

平成25年1月8日（火）  
通常の登校時刻です。

# 12月の生活目標

## 「物を大切にしよう」

生活指導部 宮岡慶子

図工室には、名前が書かれていない鉛筆がたくさんあります。もったいないな……。しかし、落とした本人は、取りに来ない。気づいているのか、いないのか？

「いっぽんの鉛筆のむこうに」という本が、読書旬間の時に展示されていました。本の一文にこんな記述があります。『人間は、鉛筆いっぽんすら自分ひとりではつくりだせない。～略～そのいっぽんの鉛筆をつくるためには、かぞえきれぬほどおおぜいの人がちからをあわせている。』一本の鉛筆を作るには、スリランカのボガラ鉱山の地下300メートルで、芯の原料の黒鉛を採掘。一方、アメリカのシエラ・ネバダ山では、100年たっていると思われるシダーの木が切り出され、1年間乾かした後、板に加工されます。コンテナ船で日本に運ばれた材料は、山形の工場で、やっと鉛筆に仕上げられます。

物があふれる今日ですが、子供たちには、物の価値が分かる人になってもらいたいものです。そして、物を大切にできる人になってもらいたいです。物の管理ができるということは、自分の生活を自分で作っていくことにつながります。そのために、「定位置が決まっている」「いつも使える状態にする」「最後まで使い切る」を目指しましょう。最初は、限られたものから、始めましょう。では、筆箱の中から。

※野鳥観察会は、保護者の方も参観できます。  
是非、善福寺公園に来て、いっしょに野鳥を観察してください。

日時：12月13日（木）9：00～12：00

◎お子さんが何時ごろ公園にいるかは、クラスによって異なります。お子さんを通してご確認ください。

